

陳情第一一九号

義務教育費国庫負担制度の堅持と削減、除外された費用の
復元を求める陳情書

(趣旨)

学校教育は、教員はもとより事務職員・栄養士など、それぞれの職務を通して子供たちに行き届いた教育を保障するためにがんばっています。

このように、今日、学校教育に不可欠の事務職員・栄養職員であるにもかかわらず「国庫負担見直し」と称して、一九八四年以来五年間にわたって毎年のように学校事務職員・栄養職員の給与費について国庫負担の適用を除外しようとしてきました。既に国庫負担から適用除外されて、一般財源化された教材費が、全国各地で軒並み削減されている例のように、学校事務職員・栄養職員が国庫負担から除外されることになれば、学校事務職員・栄養職員制度をないがしろにし、やがては義務教育費国庫負担制度そのものも危ないものになりかねません。

また御承知のように、国庫補助金一括削減法は昨年度で三年間の期限が切れましたが、引き続き恒久的に削減されることになりました。恩給費も一般財源化されましたが、こうした際限のない地方転嫁を許せば、教育にとっても地方財政にとっても由々しき事態を招くことは必至です。

教育をめぐる問題が大きくクローズアップしてきている今、子供たちに行き届いた教育を保障する上で、不可欠の役割を果たしている学校事務職員・栄養職員給与費を含む国庫負担制度の維持と充実・発展を望む立場から、左記事項を貴議会に陳情申し上げますので、ぜひとも御採択いただけますようお願い申し上げます。

(陳情事項)

一、大蔵省・自治省・文部省に対して「義務教育費国庫負担制度を堅持する意見書」を提出していただきたい。

二、大蔵省・自治省・文部省に対して「既に除外した教材費・旅費などの復元を求める意見書」を提出していただきたい。

平成元年八月十八日

陳情者

青梅市西分町三一六五

東京都教職員組合西多摩支部

執行委員長 川 向 末 男 ㊟

西多摩郡瑞穂町二本木六七〇

東京都教職員組合西多摩支部

事務職員部長 立 石 正 夫 ㊟

他 四十三人

福生市議会議長

仲 村 清 信 殿

陳情第一一十号

「義務教育費国庫負担法」の改正に反対し、

これまでに除外・削減された費用の復元を求める陳情書

(陳情趣旨)

「義務教育費国庫負担法」の改正に反対し、これまでに除外・削減された費用の復元を求める意見書を、政府及び関係行政官庁にあて提出していただきたい。

(陳情理由)

政府は昭和六十年年度予算で「義務教育費国庫負担法」を改正して以来、同法の対象から旅費・教材費等を矢継ぎばやに削減・除外し、来年度予算では過去五度も断念した、公立小中学校事務職員・栄養職員の給与費等に対する国庫負担の廃止を再度検討していると伝えられています。

義務教育費国庫負担法第一条は、「義務教育無償の原則に則り、国民のすべてに対しその妥当な規模と内容とを補償するため、国が必要な経費を負担することにより、教育の機会均等とその水準の維持向上とを図ることを目的とする」と明記しており、学校事務職員等を国庫負担の対象からはずすことは、地方自治体の財政負担をさらに大きくさせ、負担法の基本精神をも踏みにじるものです。

私たちもこの間再三にわたり、関係諸団体に対して要請・請願を繰り返しており、都議会もここ数年「国庫負担制度維持」に関する要望書を国に送り続けています。

昨年度は、貴議会でも「改正反対」の決議をいただき、大蔵省の勇足をただすことができました。今回も、本陳情の趣旨について御審議を賜り、採択の上、政府及び関係行政官庁にあて意見書を提出していただくよう要請いたします。

平成元年八月二十八日

陳情者

青梅市河辺町五一二四

東京都公立学校事務職員組合西多摩協議会

委員長 酢 谷 寿美治 ㊞

福生市議会議長

仲 村 清 信 殿

陳情第一—十一号

「仮称多摩河原公園」内への車椅子用トイレ等の設置に関する陳情書

私たち「思いっきり遊べる公園をつくろう会」は、このまちのどこかに、「プレーリーダー」のいる「プレーパーク」をと願い、結成しました。活動する中で、まず福生の公園をいろいろな点から考えようということになり、次のことをお願いしようということになりました。

樹木や川に恵まれ四季折々の変化を楽しみながら、遠く連なる山脈に日没を見て生活し続けて十五年、まだまだ不便なことがありますが、自然を誇れる我がまち福生に愛着を持ち、子供たちとともに深く根を降ろして生きていきたいと思っています。

さて、最近早朝から多摩川沿いの土手を散歩やマラソンをする人が多くなり、中でも、夫婦かグループ同志の老人が圧倒的にふえているように思います。南公園から土手を通って「多摩河原公園予定地」までは、今後ますます格好のマラソンや散歩のコースとなりそうです。このように、これから高齢化社会となり、大なり少なり身体に障害を持って生きていかなければならない人たちも含めて、「公園」を市民の交流の場、憩いの場と考えていかなければならないと思います。

先日、西多摩郡日の出町にある重度身体障害者授産施設「泉会日の出舎」を訪問して、中沢秀世さんと山田繁男さんのおふたりと施設職員に意見を聞いてきました。重い障害を

持ちながらも、外出したい、自立したいという気持ちは健康な人々と同じです。まして公園に行くときは、別に目的を持たないでふらっと行く場合もあるので、車椅子用のトイレや手すりやスロープ、水飲み場や電話ボックス、駐車場の車止めの間隔等が、だれにでも使えるように配慮されていた方が行きやすい、とおっしゃっていました。また、職員の方も、障害者を旅行等に連れていくときに、ポータブルトイレのほかに重いテントを車に積んでいかなければならないこと等をおっしゃっていました。

そこで、障害者用のトイレを設置してほしいと思います。それも一般の人と同じ場所につくっていただきたいのです。便器等も一般用と並んでいて、男女別々に一つずつつけてほしいと思います。河川敷等の関係から、新幹線等に備えてあるユニット式の車椅子用トイレの特注はどうでしょうか。

設計の段階から使う人の意見を十分聞いて、いろいろな立場の人が有効に利用できるように最善を尽くすことは必要です。専門家も含めて十分な検討が必要だと思っています。

「仮称多摩河原公園」は、水に親しめることや、かまどの利用もできる素晴らしい公園になると聞いています。広さも南公園よりも大きいとも聞いています。それだけに、私たち市民の期待も大きいのです。また、日の出舎の方々も、車椅子用トイレ等が使えるよう

そこで、次のことをお願いします。

一、なだらかなスロープ、手すり、駐車場の車止めの間隔、水飲み場の高さ・傾斜、電話ボックス等も使う人の意見を尊重して設置してください。

以上、よろしくお願いします。

平成元年九月二日

陳情者

福生市南田園二一七一三一五〇六

「思いつきり遊べる公園をつくろう会」

代表 西塔洋子 印

⑦

福監発第 14 号

平成元年8月7日

福生市長

石川 彌八郎 殿

福生市議会議長

仲村 清 信

福生市監査委員 持田 力 ⑧

同 指田 保雄 ⑨

平成元年6月分例月出納検査の結果に
ついて(報告)

このことについて、地方自治法第235条の2第3項の規定に
より、次のとおり報告します。

- 1 検査日 7月28日(金)
- 2 場所 監査委員事務局
- 3 対象 平成元年6月中における収入役の権限に属
する現金の出納状況並びに関連事項。

4 結 果

6 月中における現金の出納状況について関係
帳簿及び証拠書類の検査を実施した結果、6 月
末日における収支の状況は、別紙のとおりで計
数上の誤りは認められなかった。

平成 元 年 6 月分

平成 元 年度

1 歳入歳出の状況

会 計 名	予 算 現 額	本 月 中 歳 入 額	本 月 末 歳 入 累 計 額	収 入 率	本 月 末 現 在 高
		本 月 中 歳 出 額	本 月 末 歳 出 累 計 額	執 行 率	
一般会計	14,494,647	1,506,018.87	3,068,408.70	21.2%	99,440,011.8
国保会計	2,108,016	178,243.66	355,500.17	16.9	109,510,417
老人保健 医療会計	1,414,884	166,921.51	245,989.76	11.7	26,328,613
区画整理 会 計	100	123,392.11	258,924.11	18.3	30,312.
下 水 道 事業会計	2,617,307	111,391.20	232,595.49	16.4	131,149,768
受託水道 事業会計	747,866	50,312	50,312	50.3	53,568,849
合 計	21,382,820	20,000	20,000	20.0	1,314,988,077
		97,809,083	182,494,198	7.0	
		17,576,520	51,344,430	2.0	
		18,535,000	138,778,000	18.6	
		46,722,472	85,209,151	11.4	
		1,924,049,042	4,004,155,502	18.7	
		1,152,023,477	2,689,167,425	12.6	

・運は運用金

2 歳入歳出外現金の状況

区 分	前 月 末 現 在 高	本 月 中 収 入 額	本 月 中 支 出 額	本 月 末 現 在 高
歳入歳出外現金	66,437,882	238,187,804	239,430,262	65,195,423
都 税	63,198,064	65,591,622	63,198,064	65,591,622
合 計	129,635,945	303,779,426	302,628,326	130,787,045

3 基金の状況

区 分	前 月 末 現 在 高	本 月 中 収 入 額	本 月 中 支 出 額	本 月 末 現 在 高
職員退職準備	108,397,378	0	0	108,397,378
庁舎増築	59,383,765	0	0	59,383,765
都市施設整備	828,407,294	0	0	828,407,294
福生市育英	13,150,000	0	0	13,150,000
市営住宅等管理	66,013,842	0	0	66,013,842
財政調整	761,307,923	0	0	761,307,923
学校施設等整備	754,695,523	0	0	754,695,523
国際交流	155,475,669	0	0	155,475,669
用品調達	1,302,885	870,466	632,950	1,540,401
土地開発	13,154,606	0	0	13,154,606
基金	552,229	9,000	0	561,229
中小企業振興 基金一時補填費	2,317,303	713,607	382,274	2,648,636
国保高額療養 費基金	26,772,850	43,659,600	40,008,000	30,424,450
国印				
合 計	3,325,385,161	45,252,673	41,023,224	3,329,614,610

・運は運用金

一般質問

平成元年第三回福生市議会定例会

通告者	質問内容	時間
遠藤 洋一	○横田基地について 1 クラーク基地からの移駐について 2 PACEX演習について 3 B52の飛来について 4 基地公開日について 5 六〇八月期の離着陸数について ○市民会館の臨時駐車場について 1 工事の経過について 2 市長の考え方について ○情報公開条例について 1 経過について 2 市長の考え方について 3 条例制定の考え方について ○都市基盤整備について	二時間

よ
1
2
3